



本物のパンを堅めに焼いて並べています。新製品を黒板にて紹介。通りを歩く人の目をひいています。

店舗前は店の顔！

街中を歩く人の足を止める工夫のお店紹介

ますやパン、カリフォルニア・ハーベスト、フレーバーそばの丸福、メンズセレクション

帯広もようやく暖かい春の季節がやってきました。新聞紙上や全国ニュースでは、景気が回復しているとの報道ですが、日本の中枢都市(大都市)の話で地方の中核都市では、まだまだ回復の兆しはほとんど見られず、先行きの不安が解消されない状況です。

街を歩く人たちがやお店の人たちもこの頃街中の通行量が少なくなつたのでは？と感じる人が増えてきています。この傾向は帯広だけではなく、全国の地方都市も同じ様な市街地空洞化の悩みを抱えています。街中に「住む人」の減少、「来る人」の減少が続いていて空洞化の歯止めが掛からず、中心部の器としての力を喪失しているのではと思われるほどです。

しかし最近、駅周辺にはマンションが建ち並び、ようやく中心部に居住する人口が増える傾向にあります。只ここに住んでいる人々が街で買物をしているのでしょうか？車で郊外今ヨッピンゲンに出かけると言う話も聞かれています。

せつかく街のそばに来られた住民の人たちにお客さんになって頂くためには、お店の人も店に入りやすい工夫をすることが大事です。街中を歩くと写真のように入ると何も買わないで帰れない様な気がする。と言う声が良い聞かれます。買物の目的がなく只街をぶらつく人にとって、扉が開けて入るには、多少の勇気がいります。



店舗前もお店の延長、入口の扉も開けて入りやすい。(カリフォルニアハーベスト)



入口前に案内板を設置。新入荷の商品やお店の情報提供(フレイバー)おそは屋さんではメニューを張り出し、マスマットをディスプレイして目をひきます。



無料 FREE
第44号
帯広市西2南9
坂本ビル5階
帯広市商店街
振興組合連合会内
帯広商店街かわら版
いらっしやい編集局
TEL23-6546



店舗前の扉を全開に！(メンズセレクション)

帯広マチルダ楽団、誕生ま近です。

街中再生の市民グループ、ここにあり！

こんにちは。マチルダ楽団は、帯広とかちに暮らす皆さんと一緒に、まちづくり・まち使いのアンサンブルを奏でよう、まちに楽しさを取り戻す活動を、ひとつのメロディーのようにつなげよう、ハーモニーを響かせようと動き始めた市民のグループです。

発足のきっかけは、昨年夏、帯広市中心街活性化協議会、帯広TMO、帯広市、NPO日本都市計画家協会が呼びかけ、まちなかの活動に取り組まれている皆さんにご参加いただいた『都市計画キャラバン2003北海道in帯広』です。帯広のまちなかを美しく再生したいという思いは、5つのテーマとアクションプランに結集しました。

マチルダ楽団はこれらをつなぐ場(情報交換・連携・融合)として、ただいま仕組みと仕掛けづくりを行っており発足をまじかに控えています。

多くの方に存在を知っていただき、またお気軽にご参加いただきたいのですが、マチルダ楽団には、現在のところ、たったひとつの厳格な参加条件があります。

それは、「街は要る、か。」と、多くの方が暮らす郊外住宅地がより便利で快適になることが大切ではないか、と問われたときの反応です。

その疑問は、たしかに本質を突いています。それでも「街は要る、だ。」と日本語文法乗り越えて、言い切るハートを持っていることです。街はイルダ、と北海道弁の響きも聴き取っていただける方なら、完ぺきです。

楽団へのご参加を歓迎いたします。どうぞお声掛けください。

ご連絡は、正式発足までの間:0155-33-4402

(株)ズコーシャ地域振興部都市計画課内

帯広マチルダ楽団設立準備事務局

得能裕明(とくのう ひろあき)

帯広マチルダ楽団が受け継いだ5つのテーマとアクション・プラン 『都市計画キャラバン2003北海道in帯広』 “協働による「美しいまちづくり」をめざして”

1. まちなかを緑で修景してネットワークしていきたい
 - ・ 駐車場や空き地の緑化、ビル壁面の緑化、花壇・花による修景、オープンスペースの確保と周辺の景観整備によりオープンカフェとして利用、屋外広告物も含めた街路景観の秩序化
西2条グリーンロードノできることから一歩ずつ
2. まちなかの広場や公園を有効活用してにぎわいや潤いをつくりたい
 - ・ 市民が参加しているいろいろな賑わいづくり・潤いづくりをすすめたい。・朝市のようなにぎわいをとりもどしたい。一年通して、日本一花の美しいまち宣言
3. まちなかの固有資源をネットワークした散歩道をつくりたい
 - ・ 『市民がまちなかを歩くモチベーションづくり。まちの固有資源を掘り起こし、再認識することから物語性と散策路のコンテンツを再生・継承・創造する。
歩きたくくなるようなまちづくり
4. 個性や産業資源を生かしたにぎわいづくりをしたい
 - ・ 全国から起業家を募って「お菓子広場」をやりたい。青空の下で特産の「そば」を食すようなみちをつくりたい。開放的なオープンカフェをつくりたい。
お菓子な広場をつくらう
5. 市民が気軽に集まれるまちづくりサロンをつくりたい
 - ・ 協働のまちづくり・まちづかいに有効な取組みのために、人、組織をつなぐネットワークづくりや、必要な情報の受発信、活動の起点となる場やツールなど、活動を支援の環境づくりを働きかける。
街と人をつなぐ「まち使い」ネットワークをつくらう

サポーターズクラブ通信

サポーターズクラブは、商店街を応援するボランティアグループです。
Vol. 39

南アメリカ大陸にアルゼンチンという国がある。首都はブエノスアイレス、人口3600万人、スペイン語を公用語とするこの国の国民は良くも悪くも愛国心というか、自国に対する愛着が強い。より正確に表現するのであれば母国が世界に誇れるもの、母国の自慢の種に対する愛着が非常に強いといえる。

その「自慢の種」とはどのようなものがあるのかと言えば、例えばラプラタ河。アンデス山脈から南大西洋に流れるこの河は世界一、幅の広い河口を持つている。このラプラタ河を挟んでウルグアイという国があるのだが、向こう岸のウルグアイが見えないほど広い。

またブエノスアイレスには、街を横断する「7月9日大通り」という道路がある。この道路は13車線もあり、「世界一、幅の広い大通り」だ。しかし幅が広いだけで特に利点があるわけでもないのだが、やはり「世界一」ということでアルゼンチン人の自慢の種になるらしい。

ボールペンもアルゼンチン自慢の種のひとつだ。世界中に普及しているボールペンのルーツがアルゼンチンにあるとなると、たしかにアルゼンチンという国に対して一目置くことになるだろう。しかし実際のところは、ボールペンを発明したのはラズロビロといつり方り人である。ではなぜアルゼンチン人がボールペンの事を大袈裟なほど自慢するかというと、単にビロがアルゼンチンに住んでいたからだ。

この他にも、特産品としてトフィークリームがあるし、心臓のバイパス手術は真正銘アルゼンチン人が考案したものである。これらのものはアルゼンチン人に「あなたの国が世界に誇るものは？」と聞けば必ず挙げられるものばかりだが、おそらく日本にはアルゼンチンを遙かに凌ぐ、多くの発明や特産物が存在するであろう。

しかし日本人がどれだけその事を認識しているかといえば、おそらくつつすらと認識はあっても、具体的な知識や、それらを誇りに思う心

は持合わせていないだろう。帯広十勝においても同じことがいえるのではないだろうか。実際我々は、自分達に住んでいるこの帯広十勝をどれだけ理解しているのだろうか。

我々住人が気付かずに、しかし他の地域が羨むようなポテンシャルがまだまだ帯広十勝には秘められているのではないだろうか。

そして自分達が住んでいる街、おかれていた立場や職業といったものに、どれだけ誇りを持っているのだろうか。その「誇り高き」国民性と、白人比率の高さから、アルゼンチンとは他の中南米諸国から最も嫌われている国である。しかしアルゼンチンから学ぶべき点も多いのではないのだろうか。



まちなかクリーン大作戦
今年も始まりました。溜まったゴミが溢れています。中心部活性化協議会では4月11日第1回クリーン大作戦を行います。毎月1回の清掃作業です。第2回は4月28日(水)午前9時～。藤丸前集

最近のパソコン事情

たまにはパソコンのメンテナンスを!



皆さんが使っているパソコンは、購入してから何年ぐらいい経ちますか?先日どこかパソコンの調子が悪いと言ったことで2台ほどメンテナンスすることにしました。パソコンの本体ケースを開けて見ると、埃がビッシリと詰まっています。基盤の上は白く綿がかぶった状態でした。

パソコンは埃を嫌います。なぜかという基盤や各種のコンタクト(特にメモリーの差込口周り)の埃に湿気を帯びるとショートする状態になることがあります。

また一番埃が付きやすいところは、電源ファンやCPU冷却ファン、ケース冷却ファンなどです。パソコンの中で一番大事な心臓部であるCPUは日本語で「中央演算処理装置」といい、人間の脳と同じく、パソコンのあらゆる計算処理を行います。よくCPUの性能の比較として「何メガヘルツ」といふ言葉を使いますが、これは「秒間に実行できる命令の回数」を表します。ちなみに人間の脳はたった数百ヘルツで到底及びません。また、人間が頭を使えば熱を出して具合が悪くなるのと同じように、性能がよいCPUほど強烈な熱を出します。電源を入れてから数十秒後には卵焼きが焼けるほどです。ですからCPUの上には放熱用のヒートシンをのせて、冷却ファンを回し熱を冷ましているのです。このファンとヒートシンの埃がこびりつくと、CPUの冷却が出来ずに、パソコンがフリーズしたり、具合が悪くなる一因となります。

この2台ともかなり埃が溜まっていました。3年位使用しているパソコンは、多分こんな状態ではないかと思えます。たまにはケースを開けて、市販のエアダスター(スプレー缶)で埃を吹き飛ばすと良いでしょう。

その際に気をつけなければならぬのは静電気です。自分の体の静電気を取り除いてから作業しましょう。(H.H)



買物共通バス券情報!

4月現在の買物共通バス券事業参加店は53店になりました。バス券利用のお客様には大変喜ばれています。たくさんの方に利用して頂くには、たくさんのお店に参加して頂き、何処でお買物をしてでもバス券のサービスを受けられる仕組みが必要です。

いま、帯広市商店街振興組合連合会では、買物共通バス券事業に参加して頂けるお店を大募集しています。

交通弱者に優しい街、環境に優しい街を目指して事業を実施していますので、ご理解の上、ぜひ参加をお願いいたします。お申し込みは下記まで・・・

新規参加店のお知らせ

山川内科医院

院長 山川健次郎

帯広市西1条南11丁目20

電話 0155-24-3181

診療時間 平日午前9時～午後5時

土曜午前9時～午後0時30分

休診日 日曜・祝日

買物共通バス券の利用方法



参加店にて2,000円以上のお買物をすると100円の共通バス券が貰えます。貰うためには、まず最初にバスに乗りましょう!十勝管内のバス路線なら、どのバスでもOKです。降りるときにバスの運転席後ろにぶら下がっている買物共通バス券引換券をお取り下さい。

バス乗車証明書になります。買物精算時にこの券をお店に提出してバス券と交換します。

参加店名簿は西2条通りのバス停でご覧下さい。

<問い合わせ先> 帯広市商店街振興組合連合会
TEL 0155-23-6546 FAX 0155-23-6560

映画に行こう!

CINEとかち4月上映作品
『美しい夏キリシマ』

会場: CINEとかちプリンス劇場

上映日: 4/29(木)～5/9(日)

時間: 10:30～13:00～15:30～

18:20～20:30～

料金: 一般1400円、高生1000円、幼・小・中800円(当日一般1700円)

1945年、夏。描かれるのは15歳の少年と、彼を取り巻く人々の"戦争という日常"。自暴自棄になる者、欲望を剥き出しにする者、しかし誰もが必死で生きていた。そんな混乱の空気の中、少年は、純粹さゆえに自分を見失っていく・・・。



『美しい夏キリシマ』は敗戦間近な南九州の片田舎の物語。私は15歳の少年でした。そこでも人々は悲しみ、笑い、苦しみ、愛しあって懸命に生きていました。半世紀たち、忘却の闇に埋もれてしまいそうな私自身の記憶をよみがえらせ、この映画を通してあの時代の哀歓と悲傷を何とか伝えたいと思いました。この映画を、戦争の足音が間近に聞こえてくるような日々の中、明るい未来を望む観客の皆様之魂のみぎわにまでお届けできればと切に願っています。』

-----黒木和雄(監督)

CINEとかち特別上映

『白い巨塔』(4/23～25)

4/23(金)のみ 19:00～

4/24(土)、25(日)10:30～13:30～

16:30～19:30～

入場料 一律1000円

山本薩夫監督の66年作品。「連載を中止せよ!」当時、日本医学界を激怒させた問題小説の映画化。田宮二郎の危機迫る演技で大ヒットした作品。CINEとかちで特別上映!

クイズで当てましょう!

42

【問題】「街は要る、だ。」のハートを持って、「美しい街づくり」を目指し、市民グループが立ち上がりました。その名称は何でしょう?

1. 帯広交響楽団
2. 帯広吹奏楽団
3. 帯広マチルダ楽団

正解者の中から抽選で2名の方に、NCおびひろの商品券1000円分をプレゼントいたします。当選者は次号で発表いたします。

応募方法

<締切:5月15日必着>

クイズの解答、住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、下記までハガキまたはFAXをお願いします。

〒080-0012 帯広市西2条南9丁目坂本ビル5F

市振連内 いらっしやい編集部 FAX:23-6560

正解は のWRC世界ラリー選手権大会でした。正解当選者は佐藤百合子さん、佐々木裕美さんでした。